

行動提起

私たちアジア共同行動(AWC)・首都圏は本日の集会をうけて以下の行動を提起します。

第一に、「アジアからの米軍総撤収」を掲げて沖縄—岩国—京丹後—神奈川—横田を貫いた反基地闘争を闘いましょう。

政府は「8月17日土砂投入」を明らかにし、辺野古新基地建設を強行しようとしています。沖縄人民とともに、沖縄現地そして首都圏における基地建設反対の闘いを進めましょう。

翁長知事の「埋め立て承認撤回」手続きが開始された翌日に首相官邸前行動が呼びかけられています。また、8月11日に予定されている県民大会と呼応した取り組みとして、8月6日7日にかけて防衛省前座り込みが呼びかけられています。これら行動に合流しましょう。

横田基地へのオスプレイ配備反対を闘いましょう。オスプレイは米軍特殊部隊とともに横田に配備されます。これは明らかに横田基地の出撃基地としての機能強化であり、日米軍事一体化に他なりません。横田基地の強化拡大を許さない闘いとしてオスプレイの横田配備反対を「米軍基地に反対する会」や「オスプレイは沖縄にも横田にもいらない実行委員会」とともに現地闘争を闘いましょう。

そして11月24日25日の岩国行動2018を闘いましょう。本日、岩国現地では市民集会が開催されています。空母艦載機の移駐によって基地周辺の騒音被害が拡大しています。そして何よりも岩国は極東最大の航空基地として再編されようとしています。「愛宕山を守る会」や岩国市民とともに、米軍再編反対の闘いとして岩国闘争を闘いましょう。

第二に日米軍事一体化—日本の軍事大国化と闘いましょう。

安倍政権は朝鮮半島の安定に逆らうかのように日米軍事一体化と軍事大国化につき進んでいます。

対弾道ミサイルを目的とするイージスアショアの山口・萩市への配備は明確に朝鮮半島の安定に敵対する行為です。私たちはこの動きを弾劾します。山口県民とともに反対しましょう。

さらに、軍事大国化に反対する首都圏の人々とともに反戦運動を進めていきます。この間の反戦運動の過程で培ってきた共闘団体の皆さんとの関係をさらに強化し、共同した力で安倍政権を追い詰めてきましょう。

第三に「アジア人民との具体的実践的連帯」を掲げた国際連帯運動を推進していきましょう。11月の韓国労働者大会に向けて現地訪問を企画します。闘う現場にける交流と連帯関係の強化を広範な人民の運動として推進していきましょう。

今こそアジア人民—全世界人民との連帯を基調にした反戦運動の高揚が求められている時はありません。私たちは国際連帯運動の前進こそが差別・排外主義や日米軍事一体化—日本の軍事大国化そして改憲策動を阻止する基軸になると考えます。

以上、本集会に参加された皆さんとともに闘いたいと考えます。

2018年7月1日 アジア共同行動(AWC) 首都圏